

てのひら

てのひらサイズの
できることから始めよう

あしのうら

7月に思う

7月になり、2021年も後半戦突入です。さすがに北国青森でも「夏、到来」と感じる方は多いでしょう。私の生家は両親・子供合わせて8人の、昭和30年代としては大家族の部類でした。私を含めその内3人が7月生まれでしたので、誕生日には形ばかりの祝も催したりして「ばしらいだ」感の月でした。因みに私の細君も7月生まれです。めでたきかな。(※ばしらいだ=はしゃぐ)

7月といえば学生時代は何と言っても夏休みです。小中学生の頃は、ついぞ守られることのない大雑把かつ理想的な夏休み計画表を作り、毎年待ち焦がれていました。休み初日から友達と一緒に虫取り網を手に、嬉々として自転車で出かけたまぶしい小学4年の夏は、今も忘れることはありません。標本にしたキアゲハは今思えば不憫(ふびん)です。あのN君はどしてらべ。もう50年也会ってねあぁ。。

さて今年の7月は57年ぶりに日本で夏季オリンピックが開催されます。1964年の東京五輪は、白黒テレビで見た三宅兄弟の重量挙げのみが記憶に残っています。終戦から19年後の五輪開催は、正に日本復興の証だったのでしょうか。今年の東京五輪について開催の是非はさておき、ここまで来たら感染者が増えることなく、なおかつ日本のみならず参加アスリートすべてが、持てる力を出し尽くすことができることを祈るばかりです。それが達成できれば十分成功でしょう。

そしてこの拙文(せつぶん)を皆様が目にする頃には、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が晴れて世界遺産登録されているものと確信しています。本県には構成遺産17の内8遺跡が存在しています。心より喜ばしいことは言うまでもありません。同時にこれらの遺跡は太古、私たちの遠い祖先が生活を営み、そして眠る場所でもあります。子孫である私たちがこれらの遺跡を訪れる際には、彼らに対する感謝と敬いの気持ちを忘れないでいたいと思います。

青森市 61歳 かに座のA型

「てのひら」読んで 単位認定！

県民カレッジ学生の皆さんは、「てのひら」を読んで、所感を書く、単位認定します。(1単位)



「お花の時間」

夏の琳派調いけばな

今まで、「りんば」ってなに？と聞かれて尾形光琳の絵に描かれたような「いけばな」と答えていました。しかし、琳派は花に限ったことではなく、同傾向の表現手法を使った芸術上の流派で作家やその作品を指す名称のようです。例えば「青森ねぶた」や「田舎館田んぼアート」の題材にもなった「風神雷神図屏風」も琳派でした。そして桃山時代後期を代表する絵師の俵屋宗達が始めた琳派表現を大成させたのが尾形光琳。光琳の「琳」の字をとり「琳派」と呼ばれるようになったそうです。

花材：あざみ、撫子、紫陽花、楓、すすき 花器：黒釉扇面花器



読者プレゼント

詩夢庵オリジナルポストカード5枚セット
～小川三知スタンドグラスの世界～

3名様



はがきに①住所②氏名(ふりがな)③年齢④電話番号⑤てのひらの入手場所を明記し、てのひらの感想を添えてあおもり県民カレッジ事務局「読者プレゼント係」までお送りください。9/13(月)消印有効。次号にてイニシャルで当選者を発表します。(個人情報プレゼント発送以外に利用することはありません。)

第72号プレゼント当選者発表

三戸町M.N.さん、弘前市K.H.さん、世田谷区K.S.さんおめでとうございます!!

編集後記

今後は、正治とイハが目指した理想郷「静川村荘」を再現する予定だとお聞きました。四季草花障子から二人で眺めた景色が、再現される日を心待ちにしています。100年の時を超え、私たちの目を楽しませ感動を与えてくださった、宮越家に感謝します。(木下)



取材の下調べのためYouTubeで「公開講座奥津軽 宮越家の奇跡のスタンドグラスⅠ～Ⅲ」を見ました。医者の家系の長男として生まれた小川三知が、弟に家督を譲ってまでも日本画を学び、色々な縁の先にスタンドグラスを作るに至ったことを知りました。三知自身の人生模様も決して順風満帆ではなく、そのことは正治と交わした手紙のやり取りの中でも窺えます。私達日本人の心の琴線に触れる作品であるのは三知が様々な経験を重ねてきたからこそ表現し得るものなのではと思いました。(渡辺)

編集・発行 あおもり県民カレッジ事務局
指定管理者 豊かな学びを育む青い森グループ

〒030-0111青森市荒川字藤戸119-7
青森県総合社会教育センター
インフォメーションプラザありす
電話：017-739-0900 FAX：017-739-2570
Mail：alis02@jomon.ne.jp
https://www.manabi-aomori.com



あおもり県民カレッジ

令和3年7月発行 次号は9月に発行します。

あおもり県民カレッジ&生涯学習情報誌

てのひら

てのひらサイズの できることから始めよう

特集
p 2・3「宮越家 離れ・庭園」
(中泊町)令和3年
第73号
8・9月学びの種をまく
あおもり県民カレッジ

p 2・3

●特集「宮越家 離れ・庭園」

p 4・5・6

●8・9月生涯学習講座情報

p 7

●ちょっとより道
●ある日のお弁当
●展示のお知らせ

p 8

●あしのうら
●お花の時間
●読者プレゼント 他

あおもり県民カレッジって何？

身近な所で開催されている講座をはじめ、施設を見学したり、テレビやラジオの視聴、読書でも単位が取得できます。また申請すると単位数に応じて奨励賞などが授与されます。事務局では、皆さんの「知りたい」「学びたい」を応援します。

奥津軽に残された日本の宝 「宮越家」の歴史と美術工芸品

壹

江戸時代から水田経営の傍ら、地域の発展のために心血を注いだ、中泊町尾別(おっべつ)に所在する旧家「宮越家」。代々、地域に貢献しつつ、飢饉発生時には困窮した農民から田畑など買い集め、江戸時代後期には弘前藩有数の豪農へと成長しました。明治以降は津軽の大地主として布嘉(ぬのか)「佐々木家」や太宰治の実家「津島家」とともに名を連ねていました。

さて昨年から注目を浴びている、奇跡のステンドグラスが残された宮越家離れと庭園、そして宮越家9代当主の正治と、その妻イハのことや美術品についてご紹介します。

漢詩に秀でた正治氏は「機山」(きざん)と号し、日々の記録や書簡を残していました。この記録が発見されたことで、当時の時代背景を知ることができた他、宮越家のお宝の由来が次々と明らかとなりました。正治が妻イハ33歳の誕生日プレゼントとして作った離れ「詩夢庵」(しむあん)を飾る日本初のステンドグラス作家**小川三知**のステンドグラスもその一つです。

三知の作品の多くが、関東大震災や東京大空襲で焼失や破損する中、宮越家に納められた十三湖を描いた丸窓と、川柳にカワセミ、菖蒲を描いた風呂場の作品は、宮越家に納品されていたため幸いにして被害を免れました。そして大正9年制作の「四季草花障子」は、三知の最高傑作と評価されています。100年もの間津軽の風雪に耐え、残っている無傷のステンドグラスは国宝級ともいわれています。

日本画出身の三知ならではの琳派の手法を取り入れた斬新な構図になっています。小川三知の繊細さと技術力が生んだこの作品は、日本にとどまらず海外からも広く親しまれ注目されるのではないのでしょうか。



貳

「詩夢庵」(しむあん)と名付けられた離れは、床がケヤキの一枚板で天井は社寺のような造りで、贅を尽くした欄間や襖絵も息をのむような見事なものばかり。

代表的作品の「四季草花障子」春のモクレン(あるいはコブシ)、夏のアジサイ、秋のケヤキ(あるいはハゼ)が描かれている。ガラスの向こうも新緑から秋は紅葉、冬は白銀と景観を楽しめる。

参

正治は、交友関係のある日本画家橋本関雪が京都に築造した白沙村荘をモデルに、庭造りに着手しました。詩夢庵の廊下から一望できる庭園「**静川園**」(せいせんえん)は、津軽地方で主流だった大石武学流に手を加えた枯山水と池泉の趣が感じられる広大な庭園です。大正時代の庭園としては県内最大クラスの名園です。

大正15年晩秋、年号が昭和になる2か月前に通信大臣安達謙蔵が宮越家を訪問しました。安達大臣との親交は厚く、訪問の際に書き上げた書には「友人安達謙蔵」と記されており後に石碑へ刻まれ庭園に建立されました。



庭園側からの宮越家/園内には100年以上の樹木と360種の植物が群生

大正時代の達磨堂の中には、元弘前長勝寺(ちょうしょうじ)にあったという優れた木彫りの達磨が貴重な文化財として安置されている。



四

正治とイハは庭園づくり半ばで上京することとなります。東京で過ごす正治とイハは毎日故郷の津軽に思いを馳せ、庭の草木はどうなっているだろうと気にかけていたことでしょう。その後、正治は津軽に戻ることはなく、昭和13年病に倒れ54歳の若さで世を去ります。イハは津軽へ戻り、正治との日々を回想し短歌を詠み90代まで過ごしたそうです。

宮越機山画帖

しみじみも十三湖も大好きな正治が望郷の念を募らせ描いたのではないかと。(昭和8年前後の作品。)



宮越麗子歌集「紅蘭」

イハは五所川原の名門平山家に生まれ15歳で正治に嫁ぐ。歌人として知られ作歌の道を究め麗子と号した。



故郷にかへる人らをたゝしめて
また淋しさの思いわさくる

歌集紅蘭より

伍

百聞は一見に如かず…
誌面ではお伝え出来ないことが沢山あります。宮越家歴史の中には多くの芸術家や文学者が登場します。正治とイハとの親交がわかる数多くの書簡をはじめ、貴重な美術工芸品など**中泊町博物館**でゆっくりとご堪能後、宮越家見学に足を運んでいただきたいです。



中泊町博物館 齋藤館長(右)

「宮越家を知るには、下記を参考に」
「お楽しみください。」

■中泊町水産商工観光課

TEL. 0173-57-2111

(一社)中泊町文化観光交流協会

TEL. 0173-57-9030

見学を希望の方はチケットを購入願います。
ボランティアガイド有り無しが選べます。
・ガイド有1,500円 ・ガイド無1,000円

宮越家には直接訪問することはできません。
1日8便のシャトルバスでのみ可能です。
津軽鉄道「津軽中里駅」または町内施設のピュアやバルナスより見学シャトルバスを利用ください。

チケット販売による「宮越家」一般公開
公開日:令和3年8月21日(土)~9月19日(日)
8月1日(日) 9:30~販売開始
右記「宮越家サイト」に
アクセス願います。



■中泊町博物館 TEL. 0173-69-1111

宮越家離れと庭園の一般公開に併せて宮越家の資料(文書・美術工芸品等)を紹介する企画展を宮越家一般公開と同時に開催。
住所:青森県中泊町中里紅葉坂210
時間:9:00~16:45(最終入館16:15)
入館料:一般200円、高校・大学生100円、小・中学生50円

■駅ナカミュージアム

宮越家公開期間中、津軽中泊駅構内では、工夫を凝らしたパネル展示で宮越家を知ることができます。
住所:中泊町大字中里字亀山225-1



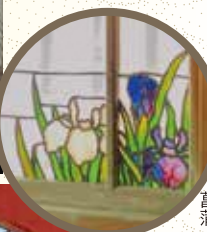
中央:安達通信大臣
右:宮越正治 宮越家9代当主
左:正治の妻イハ



大臣の書が刻まれた
石碑



小川三知
あがわさんち
ステン
グラス



菖蒲



十三湖を描いた円窓

この見事なステンドグラスの公開は

- 宮越家の作品を見出したステンドグラス史研究家の田辺千代さん
- 町長を中心とした行政の方
- 宮越家の現在の当主

皆さんの、同じ思いが繋がったことで実現しました。





これらの講座については中止・延期となる場合もございますので、事前に主催者までお問い合わせください。

8月・9月 生涯学習講座情報

単位認定 講座、講演会、教室等…1時間につき1単位 見学、鑑賞、体験施設…1回につき1単位

東青地区	講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
	令和3年度健康教室 「動脈硬化と生活習慣病」 講師：田中 光（青森市民病院 糖尿病・内分泌内科部長） 参加無料 要申込	8/4(水) 13:00	浪岡総合保健福祉センター	青森市保健所 健康づくり推進課 TEL 017-718-2942
	「大腸がんになったらどうなるの？」 講師：加藤 雅志（青森県立中央病院がん診療センター 外科副部長） 参加無料 要申込	9/25(土) 13:00	元氣プラザ	
	企画展「アイヌの紋様展」 独特な紋様が施されたアイヌの人々の着物や生活用品を展示紹介。 入場料：一般310円、高校・大学生160円、中学生以下・70歳以上無料	8/1(日)～10/31(日) 9:00～17:00	あおもり北のまほろば歴史館	あおもり北のまほろば歴史館 TEL 017-763-5519 FAX 017-718-1740

西北地区	講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
	夏の企画展「宮越家資料展」 宮越家離れ・庭園一般公開に併せて、宮越家資料(文書・工芸品・美術品等)を紹介。 入館料：一般200円、高校・大学生100円、小・中学生50円	8/21(土)～9/19(日) 9:00～16:45 (最終入館16:15) 休館日：毎週月曜、第4木曜・祝日	中泊町博物館	中泊町博物館 TEL 0173-69-1111
	青森県立郷土館巡回展 ふるさとの宝物-県立郷土館コレクション- 青森の自然や文化の素晴らしさを再確認。 6つの分野から貴重な資料の出品やつがる市ゆかりの資料展示。	9/4(土)～9/26(日) 9:00～17:00	つがる市生涯学習交流センター「松の館」	青森県立郷土館 TEL 017-777-1585 FAX 017-777-1588
	鯉ヶ沢相撲館企画展「東北出身の横綱展」 東北出身の横綱に関する写真パネルと1950年代以降に横綱たちが表紙を飾った相撲専門誌を展示。 入館料：無料	～10/31(日) 9:00～17:00	鯉ヶ沢相撲館	鯉ヶ沢町観光協会 TEL 0173-72-5004 FAX 0173-72-6662

中南地区	講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
	企画展2「弘前ねぶた展」 江戸時代からの記録を交え歴史を振り返ります。 過去の絵師たちの作品もたっぷり紹介。 観覧料：一般300円、高校・大学生150円、小・中学生100円	～9/20(月) 9:30～16:30 休館日：8/16(月)	弘前市立博物館	弘前市立博物館 TEL 0172-35-0700
	夏の企画展 お殿様たちの刀剣 弘前藩・盛岡藩・八戸藩・仙台藩といった東北の大名家に伝わった刀剣類を紹介。 観覧料：一般300円、高校・大学生150円、小・中学生100円	～9/12(日) 9:30～16:30 休館日：8/16(月)	高岡の森弘前藩歴史館	高岡の森弘前藩歴史館 TEL 0172-83-3110
	おうちパン講座(家庭教育講座) オープン不要！面倒な作業なしの簡単パン作り。 親子で楽しく作ってみませんか♪ 定員：各回親子4組(計8組) 申込締切日：8/19(木) 材料費：親子一組 1,500円 持ち物：エプロン、三角巾、手拭きタオル、お持ち帰り用タッパー、保冷BOX、保冷剤	8/28(土) ①9:00～10:30 ②11:00～12:30	藤崎町文化センター 2階 実習創作室	常盤生涯学習文化会館 TEL 0172-65-3100 藤崎町文化センター TEL 0172-75-3311
	終活 エンディングノート講座 これまでの人生の振り返り。 エンディングノートの書き方のレクチャー。 定員：15名 申込締切日：8/24(火) 参加費：1,000円 持ち物：筆記用具、飲み物	9/2(木) 10:00～12:00	藤崎町文化センター 3階 多目的ホール	



- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での講座は座席の間隔を空け、密にならないよう開催します。
- マスク着用の上お越しください。● 入室の際は検温・手指の消毒をお願いいたします。
- 当日体調がすぐれない方は入室をお断りすることがございます。ご了承ください。

上北地区	講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
	ジャパン・アヴァンギャルド ～アングラ演劇傑作ポスター展～ 日本随一の現代演劇ポスターコレクションを誇るポスターハリス・カンパニー。その3万点超の所蔵品から厳選した、1960年代のカウンターカルチャーの一翼を担った“アングラ”と呼ばれる小劇場演劇の傑作ポスター約100点を展示。 入館料：一般550円(常設展330円+企画展220円)、高校・大学生110円、小・中学生60円 ※土曜日は中学生以下無料	～9/26(日) 9:00～17:00 (入館は16:30まで) 休館日：毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)	寺山修司記念館 エキジビットホール	寺山修司記念館 TEL 0176-59-3434
	「マジカル☆ワンダーランド」 ～ふしぎなイリュージョン～特別企画展 光と影・音・映像で織りなされる美しくも不思議な異空間は、まるで魔法の世界！ 入場料：一般・高校生600円、小・中学生300円、未就学児無料	～9/26(日) ①9:00～12:00 ②13:00～16:30 休館日：毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)	三沢航空科学館 特別展示室	三沢航空科学館 TEL 0176-50-7777
	プラネタリウム 「ポケットモンスター オーロラからのメッセージ」特別企画上映 神秘のオーロラに隠された秘密とは？ 伝説のポケモンに出会う冒険へ！（※本編27分） 入場料：一般・高校生300円、小・中学生200円、未就学児無料 ※夏休み期間平日は偶数回のみの上映 ※夏休み期間以外の平日は休止	～9/26(日) ①9:30 ②10:15 ③11:00 ④11:45 ⑤13:15 ⑥14:00 ⑦14:45 ⑧15:30	三沢航空科学館 別館マルチメディアAVホール	

下北地区	講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
	土曜おはなし会 読み聞かせボランティアネットワーク「おはなしの木」、「ひばの会」、「交通安全母の会」、「フレンズ」による絵本や紙芝居の読み聞かせをおこないます。	8/7、14、21、28 9/4、11、25 (毎週土曜日) 14:00～14:30	むつ市立図書館 おはなしのへや	むつ市立図書館 TEL 0175-28-3500

三八地区	講座名/内容	日時	場所	問い合わせ先
	令和3年度 八戸市民大学講座 【第3講義】 夢と絆 講師：蓮池 薫(新潟産業大学経済学部准教授) 申込不要 受講料：無料	8/26(木) 18:30～20:00	八戸市公会堂	八戸市教育委員会 社会教育課 TEL 0178-43-9154
	【第4講義】「もしも」に備える！役立つ防災食セミナー 講師：今泉 マユ子(株式会社オフィスRM代表取締役、管理栄養士) 申込不要 受講料：無料	9/28(火) 18:30～20:00		
	特別展「是川遺跡」是川縄文館開館10周年記念 過去10年間の研究成果から、同時期の海外の文化と比較しながら是川の縄文文化の特色を探る。 観覧料：一般250円、高校・大学生150円、小・中学生50円 (八戸市内の小・中学生は無料)	～9/5(日) 9:00～17:00 (入館は16:30まで) 休館日：毎週月曜日	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 企画展示室(2階)	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 TEL 0178-38-9511
	特別展「乱世の終焉-根城南部氏と城-」 史跡指定80年の節目を記念し、根城と近隣城館の出土遺物から動乱の時代を生き抜いた根城南部氏に迫る。 観覧料：一般250円、高校・大学生150円、小・中学生50円 (八戸市内の小・中学生は無料)	～8/29(日) 9:00～17:00 (入館は16:30まで) 休館日：月曜日 (第一月曜日を除く) (祝日の場合は翌日)	八戸市博物館	八戸市博物館 TEL 0178-44-8111
	特別展「クジラの村-山から海へ出た男たち-」 昭和の中頃、中澤村では多くの男性が捕鯨会社の出稼ぎに従事していたため「クジラ村」と呼ばれていた。捕鯨関係資料や体験談を紹介し「クジラ」と「人間」の関係について考える契機とします。 観覧料：一般150円、高校・大学生100円、小・中学生50円 (八戸市内の小・中学生は無料)	～10/17(日) 9:00～17:00 (入館は16:30まで)	八戸市南郷歴史民俗資料館	八戸市南郷歴史民俗資料館 TEL 0178-83-2443
	夜のマリエント 館内照明を減灯し、水槽照明による夜間の幻想的な水槽展示を行います。ランタン片手に夜のマリエントを探検しよう！	8/7(土)～8/15(日) 18:00～19:00	マリエント	八戸市水産科学館 マリエント TEL 0178-33-7800
	魚たちのオリンピック展 魚たちがオリンピック競技？アーチェリーや高跳び、体操選手たちが金メダルを目指しかわいく競います。 観覧料：一般・大学生300円、シニア150円、高校生200円、小・中学生100円	～8/29(日) 9:00～18:00		

※連携機関のみなさまへ：講座やイベントの情報がございましたら、事務局までお寄せください。

地域キャンパス講座 県内6地区で開催

地域色豊かな講座や専門的な講座を開催し学習の機会を提供します。
あおもり県民カレッジ学友会や市町村等と協力・連携しながら県内6地区で開催。

地域	講座名/講師	内容	日時	定員	開催場所
むつ市	集まれ、ちびっ子！夏休みおはなし会 講師：松倉 チエ 他	むかし語りや絵本の読み聞かせ、マジックショーなど楽しめます。	8/8(日) 10:00～12:00	20人 (事前予約制)	むつ市下北観光物産館まさかりプラザ3階会議室
むつ市	一緒に学ぼう聴くことの大切さ(家族編) 講師：藤林 佳代子(介護支援専門員) 藤林 誠治(車イスの生活相談員)	耳と心を傾けながら話を聞けるようになるためのヒントを学びます。	9/12(日) 14:00～15:00	20人 (事前予約制)	むつ市立図書館集会室
むつ市	ここまで進んだ！私達を支えるドローンの未来 講師：徳差 毅 (株)大阪組ドローン事業部部長)	ドローンはこれからどのように使われていくのか？ドローンを楽しむために、何を勉強すればいいのか実演を交えお話しします。	9/16(木) 13:30～15:30	定員なし (当日受講可)	むつ市中央公民館

ボランティア自主講座 県総合社会教育センターにて開催

※受講無料 材料費はかかります。

あおもり県民カレッジでは、県総合社会教育センターを利用して、一般の方でも特技や知識を活かし“ボランティア講師”として講座にチャレンジできる「ボランティア自主講座」を随時開催しています。詳しくはお問い合わせください。

講座名	講師	内容 他	日時	定員
遠州流茶道講座	柴田 宗桃	遠州派の流派に沿って、基本のお手前で、薄茶、濃茶のお点前を学ぶことができます。 材料費：500円 持ち物：ふくさ、扇子、懐紙、ようじ (お持ちでない方には貸し出しもできます。お申し込みの際にお知らせください)	8/19(木)、9/16(木) 13:00～16:00	15人
コンテナガーデン講座	桜庭 るみ子	①涼しげなこけ玉 ②ハロウィンの寄せ植え 材料費：1,000円～(花材によって変わります。) 持ち物：エプロン、ゴム手袋、シャベル、持ち帰り用袋	①8/8(日)、②9/26(日) 10:30～12:30	15人
美と健康のための「癒しのアロマリンパケア」講座	塩崎 雅子	「ハンドマッサージで肩こり解消」 (ツボやリンパの流れ)や(アロマ)について学び、ハンドクリームを作ります。セルフマッサージで自身の体をリラックスさせてみませんか？ 材料費：800円 持ち物：フェイスタオル	9/7(火) 10:00～11:30	15人 一般女性
免疫力アップ！ウォーキング講座	渋谷 清光	健康ミニ講座「運動と健康」の後、ノルディック・ウォーキングを実践します。 持ち物：飲み物、汗拭きタオル、ポール	8/6、8/20、 9/3、9/10、9/17 毎回金曜日、10:30～11:30 雨天中止	10人
タイダイ染め体験講座	エビナ ヒトミ	55cmのハンカチをしばって染めて自分だけのハンカチを作ろう 持ち物：手拭きタオル、汚れても良い服装	8/22(日)、9/12(日) 各午前の部 10:00～12:00 各午後の部 13:00～15:00	10人 小学生以上

告知

生涯学習フェア2021

あおもり県民カレッジ認定証交付式

開催のお知らせ

令和3年 10月2日(土)

会場：青森県総合社会教育センター 大研修室

感染症拡大防止のため例年同様のフェアを開催できませんが県民の皆さんに楽しんでいただけるステージ(定員あり)と認定証交付式(12:30開始)を開催する予定です。また、三沢航空科学館で開催予定のICTフェア会場とリモートで繋がり、青森での様子を三沢のスクリーンでご覧いただけます。 詳細は、決まり次第ホームページやチラシでお知らせいたします。

様々な事情により変更・延期もしくは中止になる場合もありますので、日時や内容についてお問い合わせ先にご確認いただけますよう、お願いします。



- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での講座は座席の間隔を空け、密にならないよう開催します。
- マスク着用の上お越しください。●入室の際は検温・手指の消毒をお願いいたします。
- 当日体調がすぐれない方は入室をお断りすることがございます。ご了承ください。

取材帰りのちよつとより道



津軽五所川原駅から津軽中里駅までを結ぶ津軽鉄道線。遠くの津軽富士お岩木山と田園風景が楽しめ、ストーブ列車で有名です。季節にあわせて風鈴列車や鈴虫列車が運行されます。

津軽中里駅前で見つけたのぼりは、今年3月にデビューしたご当地グルメ「中泊トマト海鮮ラーメン」。中里町の高級魚メバルの水揚げは青森県トップ！他にも、この町ならではのメニューがあります。お刺身、煮付け、ちゃんこ鍋、海鮮おかきもご賞味ください。

中泊トマト海鮮ラーメン

宮越家取材の日、「ランチにはぜひ中泊トマト海鮮ラーメンを！」とのおススメをいただき「くつろぎダイニング哲。」さんにお邪魔しました。真っ赤なスープにパプリカの黄色、水菜とレンゲのグリーンが鮮やかに引き立て合います。中泊産トマトのピューレをチキンブイヨンで仕立てた程よい酸味のスープ。トッピングには地場産のメバルで作ったソーセージとイカ天かまぼこ。粉チーズのまろやかさが相まって、ラーメンなのにイタリアン♪最後はスープにバターライス(別売り)を入れてのりソット。最後の一滴まで楽しめる一皿です。

下記の店舗でも提供しています。
小泊エリア：レストラン竜泊(道の駅こどもり内)
中里エリア：しじみ亭 奈良屋、ビューレストラン



トマトラーメンをお勧めくださった中泊町水産観光課課長補佐の鈴木メバルーさん

メバルのソーセージ

見ているだけで元気が出ます。

中泊町の新・ご当地みやげ

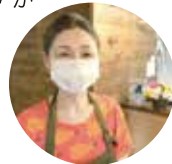
「町長！メバルのおかきじゃダメですか？」

インパクトある商品名のおいしいおかきが誕生しました。津軽海峡メバルの粉末入りで、サクサク香ばしいあじわい。これからの季節、ビールのおつまみに、家族だんらんの供にメバルのおかきはいかがですか。
販売場所：中泊町農産物加工販売施設「ビュー」

「かなぎカフェ メーロ」でひと休み

中泊町のお隣は太宰の故郷金木町。斜陽館近くにオープンした「かなぎカフェ メーロ」。オーナーは元津軽半島観光アテンダントの阿部美紀さん。築100年の米蔵を改装した店内は、工夫やアイデアがいっぱいで、落ち着ける空間です。

〈かなぎカフェ メーロ〉
青森県五所川原市金木町朝日山399-1
電話：080-1666-6328
営業時間：10:00～17:00
定休日：月曜日



阿部美紀さん



店舗外観

ある日のお弁当



お昼が待ち遠しい
早く食べたい
ワクワクするお弁当
赤、緑、黄
彩りの良いお弁当は
見栄えに負けず栄養満点。

赤はトマト、人参、ウインナー
緑はピーマン、ほうれん草
黄はたまご
白の玉葱、レンコン
旬の野菜は赤シソとナスのみそ炒め
黒ゴマパッパと、出来あがり!!!
写真提供：くるちゃん



青柳省吾 映画にがお切り絵展 「ちょきちょきシネマ」

青森県総合社会教育センター
階段ギャラリー
8/1(日)～9/25(土) 9:00～18:00

古今東西の映画をモチーフに、はさみやカッターで描く映画にがお切り絵「ちょきちょきシネマ」の世界へようこそ！独断と偏見でチョイスした「あんなシーン」の「こんな顔」を「紙を切る」ことで表現してみました。そのほか切り絵の縄文土偶モビールもお出迎え。ゆらゆら踊る土偶たちに囲まれながら奇妙な空間をお楽しみください。

